

皆さん、おはようございます。こうして1・2年生が一堂に会するのは、今年度初めてのことですね。1年生の皆さんに対面でお話しするのは4月7日の入学式以来ですし、2年生の皆さんとは今日が初めてとなりました。

今日は体育館なので、パワーポイントは使いません。話だけ聞いてください。

新型コロナウイルス感染拡大の状況は、先日まで少し落ち着いていたかに見えましたが、最近はまだ拡大傾向にあるようで、昨日15日の新規感染者数は東京で284人、埼玉で57人、全国では708人が確認されたそうです。一時は1日に2千人近い感染者がいましたから、それから見ると減っていますが、まだまだ油断はなりません。

報道ではもっぱら1日当たりの新規感染者数が伝えられていますが、現時点で全国にどのくらいの数の感染者がいるか、皆さんは知っていますか？ ちょっと何人かにきいてみましょう。2万人、なるほど、1万人、ふむふむ、7千人、ほう。だんだん減って来ましたね。実はもっと少なく、昨日の時点で、全国で5,490人だそうです。ちなみにこれまでの累計感染者数は91,520人だそうです。

こうした状況に対して、昨日開かれた政府の有識者会議では、尾身会長が「増加要因と減少要因が拮抗している、一進一退の状況だ」とおっしゃっていました。劇的に増加するでもなく、逆に減少するでもない、何かの要因でどちらにも転ぶ現状だということです。一方で欧米など海外では、かなりの拡大傾向が伝えられています。例えばフランスでは昨日1日の新規感染者数が3万人を超えたと報じられました。

そうならないように、日々油断することなく、感染防止に努めましょう。学校での新しい生活様式も、一時よりは少し緩やかになって来ましたが、少なくとも次の5つの場面では手洗いを継続しましょう。一つ目は帰宅時、外から帰ってきた時です。二つ目は食事の調理前、三つ目は食事の前です。四つ目はトイレを済ませた後、そして五つ目は掃除やゴミ出しの後です。

既に担任の先生から聞いているように、今日からは本来のクラス単位での学校生活に戻します。朝のオープニングとAll English、給食とDaily Reflectionは、クラスごとに行います。各教科の授業は、本来の形がグループ制ですから、前期と変わりません。2年生にとっては昨年度と同じ生活スタイルであり、1年生にとっては入学後初めてのMOISの生活スタイルになります。新しいコミュニケーションが増えたり、クラスでの交流がしやすくなったりすると期待していますが、そのためにも感染しない、感染させない心構えが必要です。

ところで、去年のこの時期に起こった自然災害を皆さんは覚えていますか？ 台風19号の襲来です。この体育館は広域避難所に指定されていますが、私が西高の校長になって5年目にして、初めて実際の避難所を設営しました。学校の西側を流れる鴨川だけでなく、荒川までもが氾濫危険水域に迫り、地域住民の方々が避難して来ました。今年はまだ、この辺りでは深刻な自然災害は起こっていませんが、天気予報であらかじめ想定できる台風はもちろん、予測できない大地震にも備えておく心構えが必要です。

ウイルスに対してでも、様々な自然災害に対してでも、そのための備えをすることは大切なことですが、そのために必要なことは何よりもまず心構え、Mindsetです。MOISの校訓である3つのGも、入学前にパンフレットなどで見たと思いますが、Grit Mindset、Growth Mindset、Global Mindsetと示されています。

Grit Mindset、困難にぶつかっても、あきらめずにとことんやりぬく力、それを身に付けようとするMindset。Growth Mindset、学んで成長し、大学に進んでからも社会に出てからも、自らを成長させ続けようとするMindset。そしてGlobal Mindset、自分自身の未来を良くするだけでなく、そのことによって少しでも自分を取り巻く社会、コミュニティ、

そして世界を少しでも良くしていこうとする Mindset。3つのGを実現していくためには、まず何よりもそのための「心構え」 Mindset が大切です。

私の話はあと少しですが、私の話の後、今日は Mr. Semans と三輪先生、福島先生が、もっと具体的なお話をします。

さて、最後にもう一つ、前期最終日に皆さんに渡された成績について話します。

MOIS では成績を「学習の結果」としてではなく、その時点で皆さんがどういう地点にいるのか、目指している姿に向かってどれだけ到達しているのかを示すものとして捉えています。各教科、各観点において、自分は何ができるようになっていて、何が足りないのかを、皆さん自身が外からの評価によって知るためのものです。それによって、これから自分はどのような学習をしていけばいいのか、それを考えて貰うためのものです。

4月の臨時休業期間中にホームページで、俳優の山田孝之さんの言葉を紹介しましたが、うまくいかなかったことを失敗だと決めつけないで、どんどん経験するから、どんどん成功に近づいていくんだ、だからそれは失敗なんかじゃないんだって話がありました。失敗は、より良いステップへの足掛かりだとも言えます。

だから、もし自分が期待していたより良くない成績だったならば、それをきちんと受け止めて、これからの学習や活動に繋げてください。成績は、そうやって自分自身を磨き、高めていくためのものです。「切磋琢磨」という言葉がありますが、皆さんがお互いに磨き合って、高め合っていくことを期待しています。